

# わだち

LOGISTEED  
Public Relations Magazine  
January 2026 vol.464

2026 冬号

特集

## 物流の要となった海の道

〈戦国時代から現代まで  
瀬戸内海の海運史〉

達人ノ音 ヴァイオリニスト  
仙台フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター

西本 幸弘





勢いよく走り出す午年の始まり

2025年は、文化もスポーツも人々の情熱が輝いた一年でした。新しい価値観が生まれ、さまざまな分野で挑戦が実を結び、社会全体が前向きな熱気に包まれた年だったといえるでしょう。困難の中にも希望を見出し、ひとり一人が未来への歩みを確かめるように過ごした一年――。そうした流れを経て迎える2026年は、そこからさらに一歩を踏み出す「跳躍の年」となりそうです。

干支は「午」。古来、馬は人の暮らしを支え、時に人生の節目を後押しする存在として敬われてきました。力強く前へと走り、振り返らずに進む姿は、挑戦の象徴そのもの。新しい年を迎えるにあたり、午という干支を持つ意味に、今年ならではの期待が自然と重なります。

「午」は十二支の七番目で、「午の刻」は午前11時頃から午後1時頃までの2時間を指します。その真ん中が「正午」。陽が最も高く昇る時間を示します。勢いが満ち、物事が頂

## 強く駆ける年へ「午」が告げる新たなスタート

点へ向かって動き出す象徴とされるゆえんです。午年は古くから「流れが変わる」運気が開く、といわれ、事業の転換期、新たな挑戦、環境の変化などにふさわしい年とされてきました。

また、縁起の良い言葉として知られる「馬九行久」は、「九つのが長く続くほど、物事が順調に運ぶ」という願いを込めた吉語。新年の目標を掲げる場面にも心強い後押しとなります。さらに、馬を左向きに描いた「左馬」は、「うま」を逆から読むと「まう（舞う）」となることから、舞い、祝いを象徴し、人が集まり、商売が繁盛する印として古くから愛されてきました。

2026年は、こうした馬の象徴が示すように、勢いが生まれ、実りへとつながる年。日々の小さな挑戦が形になり、努力が目に見える成果へと変わっていく、そんな前向きな空気が広がる年になりそうです。



香川県にある本島には人懐っこい猫がのびのびと暮らしている



## Contents

特集

04 物流の要となった海  
の道  
～戦国時代から現代まで  
瀬戸内海の海運史～

達人ノ音

11 ヴァイオリニスト  
仙台フィルハーモニー管弦楽団  
コンサートマスター  
西本 幸弘

SDGsエコレシビ

14 黒豆抹茶ロールケーキ&  
田作りと筑前煮の  
炊き込みご飯

16 Topics

19 編集後記

※今号は、ロジスティード陸上部選手たちのONとOFFは休載します。

表紙

瀬戸内海と内航船(香川県坂出市)

お問い合わせや感想はこちらまで  
わだち編集事務局:wadachi@logisteed.com

\*「わだち」の無断転載はご遠慮ください。  
\*本誌内においては会社名の敬称を略しておりますので  
何卒ご了承ください。

ロジスティード広報誌  
わだち 2026冬号  
2026年1月1日発行

編集発行人 金田 陽子  
発行所 ロジスティード 株式会社  
〒104-8350 東京都中央区京橋2-9-2  
Tel.03-6263-2803  
印刷所 株式会社 日立ドキュメントソリューションズ

## 米や塩、外来の文化も 行き来した

大小さまざまな島が点在し、その美しい景観で人々を惹きつける瀬戸内海は、古くから九州と畿内を結ぶ重要な航路として栄えた。

中世の荘園制の時代には、京都などの荘園領主のもとへ西国からの貢納物が瀬戸内海の海路で運ばれた。米や塩、海産物、木材、各地の特産品などが行き来し、さらに外国使節や宣教師たちの往来もあり、外来の文化も入ってきた。

また、平安時代から戦国時代にかけては瀬戸内海の各地で海賊（水軍）が出現し、存在感を示した。この海賊は海上輸送をする船を襲い、金品や食糧を奪うこともあったが、多くはそれぞれが拠点とする島の周辺海域を縄張りとし、その縄張りを航行する船から「礼銭」などとする通行料を徴収していたようだ。

ほかにも島が点在する複雑な航路の水先案内や海上警固、海上輸送を請け負い、その対価として金品を受け取ることもあった。たとえば、室町時代には遣明船の警固を幕府が海賊に命じていた。この場合は海賊ではなく水軍（海の軍隊）という意味合いが強かった。そして、南北朝時代から戦国時

代にかけて名を馳せたのは三島村上氏とも称される「村上海賊（水軍）」だ。瀬戸内海の難所である芸予諸島にある能島、来島、因島それぞれを拠点に、村上氏の一族が海域を支配した。戦国時代、宣教師ルイス・フロイスは瀬戸内海の船旅の記録の中で、能島を拠点とする能島村上氏を「日本最大の海賊」と記している。

## 秀吉から自治が 認められた船方たち

そんな海賊が活躍する時代に、いわば「海のプロフェッショナル集団」として異彩を放ったのが塩飽諸島の塩飽水軍だった。塩飽諸島は香川県と岡山県が最も近づく備讃瀬戸の海域にある28の島の総称だ。現在、塩飽諸島の一部の島には瀬戸大橋がかかり、そのひとつの与島にはパーキングエリアが設けられている。

戦国時代、塩飽水軍は織田信長、豊臣秀吉や徳川家康に認められ、秀吉、そして家康が発給した朱印状により豊臣時代以降、江戸幕府の終焉まで塩飽領1250石を塩飽の船方650名が領知（土地を領有し、司ること）することができた。この650名は自らを「大名」と称した。この呼び名は大名や小名に対するものだ。江戸時代

# 物流の要となった海の道 ～戦国時代から現代まで 瀬戸内 海の海運史～

温暖な気候が特徴で、大小さまざまな島が連なる多島美が楽しめる瀬戸内海  
一見穏やかに見える海も、海路は複雑で潮流が読みにくいところもある  
この海ではかつて海賊が勢力を伸ばし、海上輸送を請け負ったこともあった  
日本の物流の要でもあった海の道、瀬戸内海の世界史を紹介する



の幕藩制度のもとでは武士以外の者が土地を領有することはなく、船方による塩飽の人名制は全国で唯一のものであったという。

なぜ塩飽水軍は権力者から重用されたのか。その理由を教えてください。それは、塩飽諸島の本島で塩飽勤番所顕彰保存会の会長を務める信原清さんだ。

「塩飽の名は、一説では『潮湧く』から転化したといわれています。このあたりの海域は潮の流れがよく変わり、しかも強くて速く、渦を巻くこともあり。この海で操船するには高い技術と知識が必要で、頑丈な船を造る造船技術も持たなければなりません。塩飽水軍の船方たちは船乗りとしての一流の腕を持っていました。その技量を時の権力者は利用し、塩飽の船乗りもうまく立ち回って協力したのです」

例えば豊臣秀吉は島津征伐や朝鮮出兵の際に塩飽水軍を海上輸送業務にあたらせ、塩飽水軍は高い操船技術でその任を果たした。塩飽の自治が認められた後、650名の人名から4名の年寄が交代で政務を執るようになった。その後、寛政（1789年）の初めに島治の改革があり、年寄は人名の中から入札（選挙）で3名選

## 潮を読み、操船技術を磨き島の自治を実現

ぶようになった。寛政10年（1798年）に勤番所が新築され、年寄はその勤番所で政務を行った。現在の建物は改築や復元修理を経たものだが、国指定史跡として一般公開され、当時の様子を知ることが出来る。塩飽勤番所顕彰保存会のメンバーが在席の場合、案内を頼むことも可能だ。

### 江戸時代、西廻り航路で年貢米を運ぶ

江戸時代に入り天下が安定すると、塩飽水軍は幕府の御用船の操船や各地の廻船業務を請け負い、瀬戸内航路の運航を支えた。

また、江戸時代には材木商の河村瑞賢によって、年貢米を江戸に届けるための航路が整備された。太平洋を通る東廻り航路と、日本海を通る西廻り航路があり、西廻り航路は酒田「後に蝦夷地（現在の北海道）」から日本海を南下した後、下関から瀬戸内海に入って大坂（現在の大阪）へ向かうルートとなった。

塩飽の廻船は主に西廻り航路で活躍し、酒田港（山形県）で集積した城米（幕府が徴収した年貢米）をはじめ、塩干魚、魚肥、昆布など東北の産物を運んだ。江戸中期、塩飽には472艘の船があり、3460人の水夫が海運に従事し、毎年7万5000石の城米を運んでいた。しかし、その後、幕府の方針転換があり、廻船は廻船問屋の商人が請け負うようになり、塩飽の海運業は衰退した。

「操船技術は持っていても、営業力がなかったということだと思えます。船乗りで食えなくなった後は、造船の船大工で培った腕を活かし、大工や宮大工になる者が多かったようです。」と信原さんは教えてくれた。

### 日本初の太平洋横断航海を水夫として支える

塩飽の船乗りは幕末に再び脚光を浴びることになる。黒船来航後、開国をせまられた幕府は西洋式の軍艦を持つようになる。その軍艦

を操船する水夫が必要になり、塩飽からも多くの船乗りが集められた。そして、日米修好通商条約批准書交換のため、日本で初めて太平洋を横断することになる幕府の軍艦「咸臨丸」に塩飽出身の水夫が乗船した。船の運航を支える水夫50名のうち35名が塩飽出身者だった。

信原さんは「サンフランシスコまで37日間の航海となったのですが、そのうちの30日間は悪天候で大荒れの航海となりました。結果的に3名の水夫が病气となり、アメリカの病院で亡くなっています」と残念そうに話してくれました。



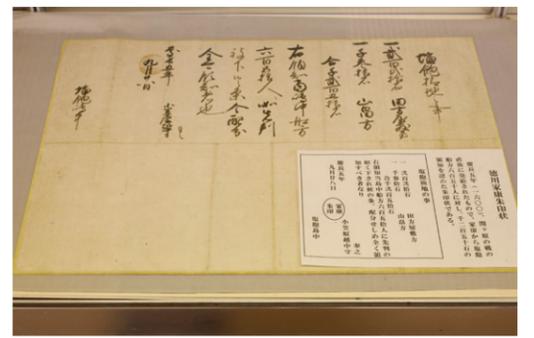
航海の安全を祈願し、信仰する塩釜神社に奉納された塩飽廻船の船絵馬が残されている。



本島泊港にある咸臨丸渡米150周年の際に建立された顕彰碑。咸臨丸に乗船した塩飽出身の水夫35名の名前が刻まれている。



右／本島にある国指定史跡「塩飽勤番所跡」。左／室内では咸臨丸の模型や、咸臨丸に乗船した塩飽水夫の航海日誌も見ることができる。



上／徳川家康から発給された朱印状。塩飽船方650名に対し、1250石の領知を認める内容となっている。朱印状は三つ葉葵の紋章が入った金蒔絵の文箱に入れられ、それを袋に入れて漆塗箱に納め、さらにそれを白木箱に入れて石櫃に納めた。石櫃は特別に建造した朱印庫（蔵）に格納していた。下／朱印状も展示されている「塩飽勤番所跡」の室内。

### 歴史を感じる 笠島集落の町並み

塩飽水軍の拠点があった本島には、人名たちが多く暮らした笠島集落がある。北面に天然の良港が開け、残りの三方は丘陵に囲まれ、守りも考えられた集落だ。江戸時代の建築物も多く残り、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。

信原さんと一緒に塩飽水軍の歴史を教えてくださいました塩飽勤番所顕彰保存会理事の桐山住夫さんは「集落の道は交差点をちよつとずらして見通しを悪くしたり、三叉路が



塩飽水軍の歴史などを教えてくれた塩飽勤番所顕彰保存会 会長の信原 清さん(右)と理事の桐山 住夫さん(左)。

# こんぴら参りの人気が 海域の発展につながった



上2点／本島にある笠島まち並保存地区。塩飽水軍が活躍していた頃から島の中心地で現在は重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。町家建築の建物に、かつての塩飽大工の伝統的な技術を見ることが出来る。



上／金刀比羅宮にある「賢木門(さかきもん)」。長曾我部元親により献納された。左／金刀比羅宮の御本宮からの眺め。右手前に見える山は讃岐富士(飯野山)、その奥に広がる瀬戸内海まで見渡せる。

あったり、敵の侵入を阻止する町並みになっていきます。瀬戸内海は海運を支えてきた水軍の歴史がそこかしこに感じられる島なので、ぜひ多くの人に来てもらい、知ってもらいたいです」と話していた。

## 海の守り神 金刀比羅宮への信仰

親しみを込めて「こんぴらさん」と呼ばれる金刀比羅宮は香川県琴平町の象頭山(琴平山)中腹にある。「海の守り神」として古くから信仰を集めてきた。表参道から始まる785段の石段を上った先にある御本宮では、御祭神として大物主神と崇徳天皇を祀っている。海上守護のほかにも農業・殖



産・医療などのご利益もあるとされてきた。象頭山は山の形が象の頭に似ていることからついた名前前で、塩飽諸島周辺の海域から見える象頭山が航海の方角の目印にもなっていた。江戸時代、西廻り航路の開拓でますます盛んになっていった海運業者や船頭、商人たちはこぞって金刀比羅宮を参拝した。その評判が全国に広まって、庶民の間でも「二生に一度はこんぴら参り」といわれるほど人気を博した。

## 瀬戸大橋の完成と 物流の変化

昭和から平成への転換期、瀬戸内海に大きな転機が訪れた。1988年4月、瀬戸中央自動車道が開通した。瀬戸大橋は、海峡部

このこんぴら参りの盛り上がりは、同時に瀬戸内海交通・宿泊・商業を発展させた。丸亀港や多度津港から琴平へ向かう参詣道には、多くの旅籠や商店が並び、人や物の流れが生まれた。

9・4kmの本州と四国を結ぶ長大橋梁群で吊橋、斜張橋、トラス橋構造の計6橋による道路と鉄道の併用橋となっている。道路と鉄道の併用橋としては世界最大級の長さを誇る。

それまで本州と四国の往来はフェリーが主流で、物資輸送には時間と天候の制約があった。瀬戸大橋の開通により、トラック輸送は大幅に効率化され、四国の製造業や農水産業が本州の市場と直結できるようになった。移動時間は

車の場合は約3分の1、鉄道利用の場合は4分の1になり、岡山と香川が互いに通勤圏になったという。一方で、瀬戸大橋の完成で一部のフェリー航路は縮小や廃止を余儀なくされ、海運業者の再編も進んだ。ただ、21世紀に入り、環境負荷が低くドライバーの長時間運転を抑制できる輸送手段として、内航海運の再評価が進んでおり、瀬戸内海の航路は再び注目を集めるようになってきている。短距離



金刀比羅宮の参道。手前に見える大きな日傘は「加美代飴」を売る「五人百姓」の露店(左コラム参照)。

フェリーやRORO船などを活用したモーダルシフトで、トラックと船舶が連携する陸海一体となった物流にも期待がかかる。

の歴史。潮流を巧みに読み、操船した水軍から現代の船舶、トラック、鉄道輸送まで、時代に合わせた知恵が培われ、未来に引き継がれていく。

## 未来に引き継がれる 海運の知恵

瀬戸内海はこれからも、さまざまなモノを運んでいく日本の「海の道」であり続けるはずだ。

## 365段目の「加美代飴」 金槌で割ってご利益のお裾分け

金刀比羅宮の参道を上り、石段365段目にある大門を抜けると目に飛び込んでくるのが大きな日傘を立てた5軒の露店。そこで売られているのはどれも同じ「加美代(かみよ)飴」だ。この5軒は古くから御宮の神事への貢献が認められ、神域である境内での商売が特別に許された「五人百姓」と呼ばれる家筋の店。加美代飴は平べったい扇形をしたゆず風味の飴で、付属の小さな金槌で割って食べる。江戸時代の参詣者はこの加美代飴をお土産に買って帰り、「こんぴらさんのご利益のお裾分け」として飴を割ってみんなに分け与えたそうだ。



参考資料:「江戸時代の瀬戸内海交通」(著:倉地 克直 吉川弘文館刊)・「日本の海賊 写真紀行」(撮影:清永 安雄 企画・構成:志摩 千歳 産業編集センター刊)・「瀬戸内の海賊 村上武吉の戦い」(増補改訂版) (著:山内 譲 新潮社刊)・「日本の街道7 海光る瀬戸内・四国」(著者代表:山本 大 集英社刊)

### ロジスティード西日本株式会社 中国第二営業部 四国AE営業所

#### カバーエリアは四国4県と淡路島。配送品には四国ならではの特色も

ロジスティード西日本(株) 中国第二営業部 四国AE営業所は香川県側の瀬戸大橋とも近く、四国4県(香川県・徳島県・愛媛県・高知県)と淡路島(兵庫県)にあるイオングループ店舗向け貨物の構内作業と配送を担当している。立ち上がったのは2015年で生鮮棟と常温棟の計2棟の倉庫があり、365日24時間体制で稼働している。

「淡路島と四国も橋でつながっているのですべて陸路での配送ですが、小豆島(香川県)の店舗向けだけはフェリーを使います。四国にはイオングループのスーパー『マルナカ』が多く、マルナカだけで約110店舗あります」と教えてくれたのは所長の下田 良輔さんだ。下田さんは岡山県の営業所からの転勤で2025年春に赴任した。「ここでは高知県の

店舗向けにはカツオの配送が多かったり、四国ならではの特色を感じました」と話す。

四国AE営業所は四国全域と淡路島をカバーし、店舗数が多いことから、繁忙期の物流量は相当なものになる。「大所帯で24時間稼働をこなしているの、従業員はみんな根性があり、メンタルが強い。勤務はシフト制となり全員が集まって何かをするという機会はないですが、私としてはできるだけ話し掛け、コミュニケーションを取るようにしています」と下田さんは続けて話してくれた。

**運転競技全国大会出場者を多く輩出**

また、四国AE営業所からは過去、全国トラックドライバー・コンテスト 4トン部門に出場し、優勝、準優勝した従業員がいる。

そして今は全国フォークリフト運転競技大会に3年連続出場している角先 大和さんもある。全国大会出場にはまず県大会で優勝し県代表にならなければならず、角先さんは3年連続の香川県大会の優勝者だ。

「フォークリフト運転競技大会の全国大会には広島県の営業所にいた時にも出場し、これまで4回出場していま

四国AE営業所の従業員のみなさん。右端が所長の下田良輔さん。「優秀な操縦士が多いことは取引先や協力会社などからの信頼にもつながります」と下田さんは話す。

DATA	
住所	香川県坂出市番の州町18-2
電話	0877-59-2715
従業員数	約300名



フォークリフトの乗務作業中の角先 大和さん。広島県の営業所勤務を経て、2021年から四国AE営業所で勤務している。

第11回 「わだち」は漢字で書くと「和達」とあてています  
この「達」にちなんで各分野の達人を紹介していきます

## 「コンサートの作り手」 「演奏者」「聴き手」が 三位一体になる 演奏会をめざす

ヴァイオリニスト  
仙台フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター  
西本 幸弘さん

宮城県仙台市を拠点とする仙台フィルハーモニー管弦楽団。もともと市民オーケストラとして1973年に誕生した、地域から愛される楽団だ。この仙台フィルでコンサートマスターを務めているのがヴァイオリニストの西本 幸弘さんだ。6歳の時にテレビで観たオーケストラのコンサートマスターに憧れを抱き、音楽家の道を歩んできた。夢を叶えた西本さんが何を思い、コンサートマスターを務めているのか話を聞いてみた。



### 金刀比羅宮

「こんびらさん」の愛称で今も多くの参詣者を集める金刀比羅宮。最寄り駅はJR琴平駅と琴電琴平駅だ。表参道から御本宮まで785段の石段があるが、その途中には宝物館のほか、神様が乗る馬として奉納され、飼育されている神馬(しんめ)がいたり、造船会社が奉納した運搬船用の直径6mの真鍮製プロペラがあるなど、多くの見どころがある。また、カフェ&レストラン「神椿」もあり、特製のハンバーガーやパフェなどでゆったりと休憩を楽しむことも可能だ。また、表参道の近くにある海と船をテーマにした「琴平海洋博物館(海の科学館)」では、瀬戸内海を往来した船の模型などが見られる。  
◎香川県仲多度郡琴平町892-1



参拝のおみやげに  
船々せんべい  
境内のカフェでおいりが入った  
特製パフェやソーダで一休み  
お参り後はジューシーな骨付鳥に  
かぶりつき!



### 国指定史跡 塩飽勤番所跡

塩飽諸島の本島にある国指定史跡「塩飽勤番所跡」へ行くためにはまずJR丸亀駅から徒歩5分の丸亀港からフェリーに乗船。約35分で本島泊港に到着。そこから徒歩10分ほどで着く。  
◎香川県丸亀市本島町泊81  
◎9:00~16:00  
月曜と12月29日~1月3日休館(月曜が休日の場合は翌日)。  
◎大人200円



### 日の出製麺所

「うどん県」の香川県で味わいたいのは、やっぱり讃岐うどん。さまざまなうどん店があるが、「打ち立てを食べたい」という客からの熱い要望に応え、製麺所が店を開くうどん店もある。昭和5年創業で、平成10年頃からうどんの食事提供を始めた「日の出製麺所」もその一店だ。あくまで製麺と卸売りがメインのため、食事としてのうどんを提供するのは毎日11:30~12:30の1時間のみ。創業以来、小麦の良さを引き出すことを一心に追い求めてきたうどんの打ち立て、茹で立ては、驚くほど艶やかで、もっちりとした弾力を持つおいしさだ。  
◎香川県坂出市富士見町1丁目8-5  
◎毎日11:30~12:30(不定休)



### 瀬戸大橋

岡山県と香川県を結び、1988年に開通した瀬戸中央自動車道。瀬戸内海の多島美を楽しめる橋梁群は、海峡部9.4kmに6つの橋が架かり、それらを総称して瀬戸大橋という。瀬戸大橋の眺望を楽しみたい時は瀬戸大橋記念公園(香川県坂出市番の州緑町6-13)がおすすめ。瀬戸大橋のたもとにあり、架橋工事の歴史や橋の構造を学べる記念館をはじめ、吊橋や斜張橋をかたどった噴水、芝生広場、こども広場などがある。また隣接して、108mの高さから360度のパノラマ眺望で瀬戸大橋と瀬戸内海を楽しめる回転式展望タワー「瀬戸大橋タワー」もある。  
◎岡山県都窪郡早島町~香川県坂出市川津町



定期演奏会に向けたリハーサルの様子。舞台手前左側に立っているのが西本さん。メンバーみんなの顔を見て、それぞれの調子や考えていることを感じるように心掛けている。

定期演奏会に向けたリハーサルの様子。舞台手前左側に立っているのが西本さん。メンバーみんなの顔を見て、それぞれの調子や考えていることを感じるように心掛けている。

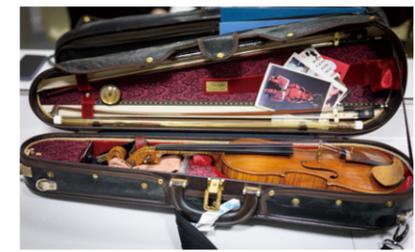
定期演奏会に向けたリハーサルの様子。舞台手前左側に立っているのが西本さん。メンバーみんなの顔を見て、それぞれの調子や考えていることを感じるように心掛けている。

これは、コンサートマスターという役割にもつながるのかもしれない。西本さんは高校卒業後、東京藝術大学に進学。卒業後はイギリスの王立北音楽院へと進み、イギリスを拠点に演奏活動をするようになった。そして、2010年に帰国し、2012年から仙台フィルのコンサートマスターとなった。「順風満帆のように見えるかもしれませんが、東京藝大には1浪で入っていますし、イギリスに渡っ



ステージ裏の楽器や楽譜、衣装を運ぶためのハードケース。輸送も含め、コンサートは多くのスタッフによって支えられている。

西本 幸弘さんがヴァイオリンを習い始めたのは6歳の時だ。またテレビで観たオーケストラの演奏がそのきっかけとなった。「小学1年生の頃です。当時の番組だから、NHK交響楽団の演奏だったのかなと思います。そのオーケストラの演奏がカッコいいと感じました。特に惹かれたのがコンサートマスター。演奏に先立ち、団員全員に対して音合わせをしたり、指示を出したり。子どもながらにその佇まいがカッコいいと感じ、自分もなりたいと思ったんです」と西本さんは振り返る。コンサートマスターとは、通常第一ヴァイオリンの首席奏者が務める役割で、客席から見て最前列、指揮者のすぐ左手に座る。演奏全



西本さんのヴァイオリンとそのケース。ケースはイタリアでオーダーメイドして作ったもので10年以上使っている。自分が好きなものとして真田 幸村の鎧の写真や京都で買った香木も入れている。

体のまとめ役であり、指揮者と奏者の橋渡しの役割だ。コンサートマスターの音色や表現が、そのオーケストラの方向性を示し、色合いにもなっていく。

西本さんは今、仙台フィルハーモニー管弦楽団と九州交響楽団でそれぞれコンサートマスターを務めている。仙台フィルのコンサートマスターに就任したのは2012年。当時27歳で、仙台フィルでは最年少のコンサートマスターとなった。九州交響楽団のコンサートマスターには2018年に就任した。

**全体を俯瞰する  
ポジションが好きだった**

夢を叶えた西本さんだが、音楽一家で生まれ育ったわけではない。父親は転勤が多い公務員だった。「父は趣味でギターを弾いていたこ

たのも(藝大の)大学院に落ちたからです。でも、イギリスでは素晴らしい師匠と出会うことができました。音楽との向き合い方も変わっていききました。『自分はその演奏で何を表現したいのか?』をはっきりと打ち出すことをイギリスでは身につけました」

**音合わせの前には  
大切なこと**

仙台フィルのコンサートマスターとして、西本さんは14年目を迎えた。年間100回を超える演奏会のうち、50回ほどの公演でコンサートマスターを務めている。

「コンサートマスターとして心掛けているのは、いつも同じ空気感で自分の席に座ることです。そして、リハーサルや音合わせの前にする大切なことは、メンバー全員の顔を見ます。音楽は人が奏でるものです。メンバーそれぞれの表情を見て、その日の調子や体調を感じ取り、もし気になるメンバーがいれば休憩時間に声を掛けたりもします。コンサートの手作り手である

とはあったようですが、いつも弾いていたわけではありません。母も普通に演歌や歌謡曲が好きという程度。7歳上の姉は体育会系でしたね」

ただコンサートマスターに憧れを持ち、ヴァイオリンを習いたいという西本さんのため、両親は先生になってくれる人を探してくれた。「その頃は(静岡県)御殿場市に住んでいたのですが、新聞の配達員さんに尋ねたりしてヴァイオリンを教えてくれる人を見つけてくれました。その時に先生になってくれた上木 節子さんとは今でもご縁があり、コンサートで共演することもあります」

その後、西本さん一家は札幌市へ引っ越し、小学5年から高校卒業までは札幌市を拠点とするHBCジュニアオーケストラに所属し、ヴァイオリン演奏を続けた。

「でも、ヴァイオリンだけではなく、小学生の時はサッカーや野球もしていました。サッカーではゴールキーパー(手を使うので)楽器の演奏家としては一番やってはいけないポジションです(笑)。案の定、指を骨折したこともあり、先生から大説教されました。でも、チームの動き全体を俯瞰できるゴールキーパーというポジションが僕の性に合っていました。そ

**みんなでつくる  
復興コンサートへの思い**

スタッフ、演奏者、聴き手となる聴衆のみなさんが三位一体となって幸福感を味わえるようなコンサートをつくっていきたくて考えています」

また2011年の東日本大震災後、仙台フィルは自らも被災者でありながら、各地の避難所などを訪問し、被災者に寄り添い慰問演奏を続けてきた。2012年からは毎年3月に、「音楽の力による心の復興」をテーマに、被災地の復興を祈念するコンサートで演奏している。コンサートを盛り上げるためのテーマや演奏曲、ゲスト候補などのアイデアを事前に募り、「みんなで一緒につくる」ことをめざすあたかかみのあるコンサートだ。

2026年3月7日には、宮城県の名取市文化会館大ホールで開催される第15回目の「つながる心 つながる力 みんなでつくる復興コンサート2026 supported by ロジスティード」に出演する。「仙台フィルの演奏会の客席からは、いつも炭火のような、じんわりあたたかくなっていくようなぬ



コンサートマスターとしてキャリアを積んできた西本さん。「これからは中堅として、若手とベテランをつなぎ、かき混ぜる、そんな役割を果たしていきたい」と話す。



仙台フィルの演奏会の一コマ。コンサートマスターの西本さんは指揮者のすぐ左側の席に座り、演奏をする。写真提供:公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団

つながる心 つながる力  
みんなでつくる復興コンサート2026  
supported by ロジスティード  
日時 2026年3月7日(土) OPEN 14:00 / START 15:00 場所 名取市文化会館

にしもと ゆきひろ ● 札幌市出身。6歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。その後渡英し、英国王立北音楽院で首席栄誉付ディプロマ取得。同音楽院よりハルピローリ賞をはじめ、多くの褒賞を受賞。英国を拠点に活動し、海外オーケストラとの共演や世界各地の音楽祭で演奏、著名な演奏家との共演も数多い。英国にてNISHIMOTO TRIO、イゾラ・ニ・カルテットそれぞれを結成し、ウィグモアホール(ロンドン)など著名なホールで招待演奏、イギリス・オーストラリア両国国営放送(BBC、ABC)などにも出演した。2010年日本帰国後、自身のライフワーク活動のテーマとして(VIOLINable)を掲げ、ヴァイオリンでの音楽の可能性を追求するコンサートプロジェクトなどを始動。各種施設での訪問ボランティア演奏など、アウトリーチ活動にも精力的に取り組む。また、2012年から仙台フィルハーモニー管弦楽団、2018年から九州交響楽団でそれぞれコンサートマスターを務めている。

# 黒豆抹茶ロールケーキ & 田作りと筑前煮の炊き込みご飯

縁起物の食材を使ったおせち料理ですが、残ってしまったこともありません。せっかくの縁起物を余らせてしまつのは新年から気持ちの良いものではありませんよ。そこで、黒豆はロールケーキに、田作りと筑前煮は炊き込みご飯に！みんなが喜びリメイクで運氣が倍増するかもしれませんよ。



## 黒豆抹茶ロールケーキ

### 材料 (30cm四方の天板を使った1本分)

- 黒豆 汁を切った状態で100g ●卵 Lサイズ4個 (Mサイズ5個)
- サラダ油または溶かしバター 大さじ1 ●小麦粉 75g
- 抹茶 大さじ1~2 ●砂糖 90g (35g・35g・20gに分けておく)
- 牛乳 50cc ●生クリーム 200cc ●天板の大きさのクッキングシート ●ラップ

### 作り方

- ① オープンを170℃に設定して温めておく
- ② 小麦粉と抹茶をふるいにかけて網目の細かい金ざるでも代用可
- ③ 卵を卵白と卵黄に分けて別々のボウルに入れ、それぞれ砂糖を35gずつ入れる
- ④ ③の卵黄と砂糖をホイッパーでとろみが出てくるまでしっかり混ぜ合わせたら、牛乳とサラダ油または溶かしバターを加えて軽く混ぜ合わせる
- ⑤ ④に②の小麦粉と抹茶を加え、ゴムベラで混ぜ合わせる
- ⑥ ③の卵白と砂糖をホイッパーでしっかりと角が立つまで泡立てる
- ⑦ ⑤に⑥の泡立てた卵白を3回くらいに分けて加え、泡を潰さないようやさしくゴムベラで混ぜ合わせる。卵白の白っぽさが見えなくなる程度が目安。混ぜ過ぎに注意
- ⑧ クッキングシートを広げた天板に⑦を流し込み、天板のふちまで広げる
- ⑨ ⑧をオープンに入れて20分ほど焼く
- ⑩ 20分経ったら、竹串を刺して焼け具合を確認する。竹串に生地がついてこなかったら焼き上がっているので、オープンから取り出し、10cmくらいの高さから天板ごと下に落として生地の空気を抜き、15~30分ほど置いて冷ます
- ⑪ ボウルに生クリームと砂糖20gを入れ、ホイッパーで角が立つまで泡立てる
- ⑫ ⑩が冷めたらクッキングシートからはがし、生地より大きめに広げたラップの上にのせ、⑪の生クリームをスポンジ全体に塗り、黒豆を横一列にのせてラップを持ち上げて巻いていく
- ⑬ ラップを巻いたまま冷蔵庫で1時間ほど冷やしたら好みの大きさにカットし、皿に盛り付ける

## 黒

豆は、風水では黒が邪気を払う魔除けの色とされていることに加え、「マメに働き、マメに暮らす」という無病息災への願いが込められています。甘く煮詰め、仕上げに醤油の風味をプラスした単に甘いだけではないおせちの黒豆は生クリームとの相性も抜群です。

オープンから出したらずくに10センチくらいの高さから天板を落とします。こうすることでスポンジの空気が抜けてしぼみにくくふっくらとした食感が持続するのです。ロールケーキの作り方は海苔巻きや要領と同じですが、不安な方はネットで検索を。上手に巻くコツを教えてください。

トがたくさんありますよ。

カタクチイワシの稚魚を砂糖と醤油で煮絡めた田作り。小さいですが煮干しのように出汁が出ます。昔、農家では干したカタクチイワシを田んぼの肥料にしていたことからこの名があり、五穀豊稔の願いが込められているのです。

人参、蓮根、こんにゃく、牛蒡などを鶏肉と一緒に炒めてから醤油、砂糖の甘辛い味付けで煮た筑前煮。家庭料理の代表格ですが、「ん」がっく食材を多く使っていることから「運」がっくとしてお祝いの料理に抜擢されたそうです。

田作りと筑前煮とだし汁、調味料を炊飯器に入れて炊き込みご飯の出来上がり！料理があまりしない方でも失敗なく作れますよ。

## 田作りと筑前煮の炊き込みご飯

### 材料 (4~6人分)

- 米 3合 ●田作り 15g ●筑前煮 150g (煮しめも同様に使用可)
  - だし汁 480cc ●醤油 60cc ●みりん 60cc ●料理酒 60cc ●好みで三つ葉など
- ※田作り、筑前煮の分量は多少前後しても構いません。

### 作り方

- ① 米を研いで炊飯器にセットする
  - ② 田作りと、食べやすい大きさに切った筑前煮を①に入れる
  - ③ だし汁、醤油、みりん、料理酒を混ぜ合わせ②に入れる
  - ④ 炊飯器のスイッチを入れる
- ※炊き込みご飯モードがある炊飯器はこれを利用
- ⑤ 炊き上がった茶碗によそい、好みで三つ葉など彩りを添える



## 第40回全国フォークリフト運転競技大会入賞



9月27～28日にかけて中部トラック総合研修センター(愛知県みよし市)にて開催された「第40回全国フォークリフト運転競技大会」(主催:陸上貨物運送事業労働災害防止協会)において、ロジスティード西日本(株)の田村 蓮選手が一般の部で第3位、進藤 雅紀選手が第5位に入賞しました。ロジスティードグループからは一般の部6名、女性の部2名の合計8名が出場しました。

一般の部 第3位



ロジスティード西日本(株)広島営業所東広島係  
田村 蓮選手

2024年の大会では3位だったので今年こそはと前回の反省を活かし、優勝を目標に練習に取り組みました。大会では学科で思うような結果が出せませんでした。運転競技では普段の練習のように挑めたので最高得点を出すことができました。優勝は逃してしまいましたが、3位に入賞できたのは多くの方のご支援ご声援があってこそと思っています。感謝の気持ちを忘れず、大会をとおして学んだ知識と技術を職場の先頭に立て安全品質の向上につなげていきます。

一般の部 第5位



ロジスティード西日本(株)滋賀営業所立川係  
進藤 雅紀選手

この度のフォークリフト全国大会で全国5位という結果を取ることができました。2024年の33位から大きく成長できたのは、会社や家族、指導員、営業所のみなさんの支えがあったからこそです。特に営業所のみなさんには訓練のため、業務から外れていた期間の業務調整などの多大な協力や、松戸研修所の整った訓練環境に心より感謝しています。運転競技では悔しさも残りましたが、この経験を糧にさらなる安全意識・技術の向上に努め、周囲を巻き込んだ安全文化の醸成に精進してまいります。



## “大空から地球を体感するコンサート”開催

10月24日に青山グランドホールで、日本でただひとつのクラシック音楽専門インターネットラジオ「OTTAVA」(オッターヴァ)が主催するLOGISTEED presents OTTAVA Accademia Special 空撮写真家 山本直洋 × ギター奏者 Falcon「Above the Seven Summits Live」を2024年11月に続いてロジスティードが特別協賛し、2回目が開催されました。山本さんが現在挑戦しているモーターパラグライダーでの空撮「世界七大陸最高峰空撮プロジェクト(Above the Seven Summits Project)」(ロジスティード(株)協賛)で撮影された雄大な地球を感じる写真・動画などをバックに、ギター奏者のFalconさんがエフェクターを幾重にも重ねて生み出すスーパースペーシな音をアコースティックギターにつなぐ、独自の即興演奏を披露しました。コンサートの合間には質問タイムが設けられ、観客からの質問や疑問に山本さんやFalconさんが直接答えるという場面も。観客は圧巻の映像と音楽に酔いしれ、コンサートは盛況のうちに幕を閉じました。



OTTAVA  
Webサイト



わだち2023夏号  
山本さん  
インタビュー



わだち2025春号  
Falconさん  
インタビュー



## 第57回 全国トラックドライバー・コンテスト 4トン部門優勝・準優勝 11トン部門3位入賞



10月25～26日にかけて安全運転中央研修所(茨城県ひたちなか市)にて開催された「第57回 全国トラックドライバー・コンテスト」(主催:公益社団法人全日本トラック協会)において、ロジスティード西日本(株)の中川 宏昭選手が総合得点994点で4トン部門優勝、小林 昂平選手が準優勝しました。また、11トン部門で3位入賞の(株)バンテックセントラルの白須 忠彦選手は、出場した50歳以上の選手のうち、総合得点が最も高い選手に贈られる「全日本トラック協会会長特別賞」を受賞しました。各都道府県大会を勝ち抜いた146名の選手が日頃の業務で培った技能と知識を競い合い、ロジスティードグループからは計7名(4トン部門:2名、11トン部門:2名、トレーラ部門:3名)が出場しました。



4トン部門 優勝

ロジスティード西日本(株)  
安全品質環境部 安全推進G  
中川 宏昭選手



選手1年目は、緊張から1日目の実科競技でミスをしてしまい悔し涙を飲みました。普段から運転する時は、同じ失敗を絶対にしないよう習慣づけることを心掛け、今回の2年目となる全国大会に挑みました。目標とする内閣総理大臣賞には届きませんでしたが、4トン部門で優勝することができうれしく思います。この結果は決して一人では成し遂げられなかったものであり、2年間サポートして下さった多くの方々に深く感謝しています。今後は、常にプロドライバーであることを忘れず模範となる運転を心掛けること、またトラックドライバー・コンテストで培ってきた経験、技術、知識を活かし、ロジスティード西日本の操縦士の添乗指導、安全教育資料の展開など、輸配送事故防止の取り組みにまい進していきます。

4トン部門 準優勝

ロジスティード西日本(株)  
関西第四営業部 兵庫営業所  
小林 昂平選手



2024年は初めての全国大会で「全国」という重圧感と緊張感、会場の雰囲気にもまれて入賞まで届きませんでした。表彰式で入賞者が発表されている時、「悔しさ」と「来年も絶対全国大会に出て、内閣総理大臣賞を獲得」その気持ちが自然と湧きました。「一致団結、内閣奪還」と目標を定め、前年からの経験がある2年目の選手が中心となって団結し、学科・実技の対策を仲間同士で共有しながら切磋琢磨してきました。本番は訓練の如く、自信を持って挑むことができ、準優勝という結果で内閣総理大臣賞は奪還できませんでしたが、2024年の雪辱を果たせたので悔いはありません。今後は他の操縦士の模範となるように安全意識を高めていき、機会があれば、自身が得た経験や技術を今後の出場選手のサポートに活かしていきたいです。

11トン部門 第3位

(株)バンテックセントラル  
相模原営業所  
白須 忠彦選手



所属する相模原営業所の協力もあり、2024年に引き続き全国大会に出場することができました。前回の全国大会では良い成績が残せなかったため、今年こそはと思い、訓練を積み重ねてきました。仲間の選手からの励まし、指導員のご指導のおかげで、11トン部門3位入賞することができ、年齢が50歳以上の選手の中で最高得点者に贈られる【全日本トラック協会会長特別賞】も受賞でき、とてもうれしく思っています。今後はこの経験を活かし、職場のみなさんのお役に立てるように後進の育成にも寄与していきたいです。最後になりますがお世話になった選手や支えてくれたみなさん、指導員の方々、ご支援ご協力いただき本当にありがとうございました。

## 「統合報告書2025」発行

ロジスティード(株)は、「統合報告書2025」(日本語・英語)を発行しました。ステークホルダーにロジスティードグループの価値創造プロセス、ビジネスモデルを説明するとともに、持続的な企業価値向上に向けた取り組みを紹介することを目的として、統合報告書を発行しています。



## 日本郵便による 資本参加および資本業務提携

ロジスティードホールディングス(株)の株式の19.9%を、日本郵便株式会社が、Kohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.(KKR)によって間接的に保有・運営されているリミテッド・パートナーシップであるHTSK Investment L.P.より譲受するため、KKRと日本郵便は株式譲渡契約を締結し、物流分野での連携を通じて当事者のさらなる企業価値の向上を図ることを目的として、ロジスティードホールディングス(株)およびロジスティード(株)は日本郵便との資本業務提携契約を締結しました。



## ベトナムにて フォワーディング事業者として 初の医薬品輸送品質認証 「CEIV Pharma」取得

LOGISTEED Vietnam Co., Ltd.が、2025年10月9日付でベトナムのタン・ソン・ニャット国際空港においてIATA(International Air Transport Association:国際航空運送協会)が推進する医薬品国際輸送に関する品質プログラム「CEIV Pharma」認証を取得しました。ロジスティードグループとして8拠点目の取得であり、ベトナム国内のフォワーディング事業者としては初めての認証取得となります。



「QRコード」を読み取ると、ロジスティードのWebサイトから詳細がご覧いただけます。「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

## 編集後記

昨年は、さまざまなジャンルの音楽に触れる機会が増えました。「わだち」でも紹介したFalconさんのギター演奏、ラジオに出演していただいたオペラユニット「IL BUONO」の歌やピアニスト福岡 洸太郎さんのピアノ演奏など。毎年3月に開催される「復興コンサート」のクラシック音楽もそのひとつです。敷居が高いと思っていた領域も一歩踏み入れると新しい発見があり楽しいです。これからも選り好みせず、視野を広げていく1年にしたいと思います。(金田)

## 事故予防を支える 生体データ解析技術で特許取得

ロジスティード(株)は、ロジスティードグループが開発・サービス提供する安全運行管理ソリューション「SSCV®-Safety」に関する特許を新たに取得しました。



## 「物流倉庫向け 遠隔フォークリフト操作システム」 フィールド実証実験開始

(株)Nexa Ware(ネクサウェア)と(株)椿本チエインは、「物流倉庫向け遠隔フォークリフト操作システム」の評価検証システムを開発しました。その機能・性能と事業性を検証するため、11月4日から、ロジスティード(株)および三菱HCキャピタル(株)と共同で実証実験を開始しました。システムの開発にあたって、ロジスティードが保有する遠隔フォークリフト作業検証による知見と技術検証ノウハウを活用し、ロジスティードグループの物流センターにてフィールド実証実験を行います。



## ロボット荷役の導入促進に向けた 実証実験開始

ロジスティード(株)は、ロボット革命・産業IoT イニシアティブ協議会\*のロボット利活用推進ワーキンググループが設立したサブワーキンググループにおいて、段ボールケースの天面強度評価に関する実証実験の検討を開始しました。



\*ロボット革命・産業IoT イニシアティブ協議会:「ロボット新戦略」(2015年2月10日日本経済再生本部決定)に基づき、同戦略に掲げられた「ロボット革命」を推進するために、「世界のロボット・イノベーション拠点としての日本-ロボット創出力の抜本的強化」「世界一のロボット利活用社会」「IoT時代の到来を見据えたロボット新時代への世界の中のイニシアティブの発揮」の実現に向けて民間主導で設立された組織的プラットフォーム。

## 使用済みEVバッテリーの 流通基盤構築に向けた 共同実証事業開始

ロジスティード(株)が参画するグリーンEVバッテリーネットワーク福岡\*1が取り組む「使用済みEVバッテリー資源循環の流通基盤構築に関する実証事業」が、国土交通省公募事業「地域連携モダリティ等促進事業\*2」に採択されました。



\*1 グリーンEVバッテリーネットワーク福岡(GBNet福岡):今後急速な増加が見込まれる使用済みEVバッテリーの回収・リユース・リサイクル・再製造の一連の工程を、経済・環境の両面で最適化させる資源循環システム「福岡モデル」の構築をめざして設立された官民連携組織  
\*2 地域の産業振興等を担う地方自治体や産業団体・経済団体などが協働しながら、地域の物流リソースを可視化し、輸送ニーズに応じて荷主・物流事業者のマッチングを行うとともに、地域物流の核となる拠点を整備することで、新モダリティやそれに向けた地域の物流ネットワークの再構築の実現をめざす先進的な取り組みに対し、費用を補助するもの

## 「EGBM2025」開催

ロジスティードグループは、11月13~14日の2日間、本社(東京都中央区)において「Expanded Global Business Meeting 2025(EGBM2025)」を開催しました。

EGBMは年に一度、ロジスティードグループの経営トップが世界中から日本に集まり、グループ全体の経営戦略を議論するハイレベルの会議で、2010年から開催されています。2025年度はロジスティード国際カンパニーの主導により、国内外グループ各社の経営陣や各拠点の責任者など、会場・オンライン参加合わせて約300名が参加し、活発なディスカッションが行われました。



## 「キャッチボールクラシック2025」 協賛

ロジスティード(株)は、一般社団法人日本プロ野球選手会が主催する「キャッチボールクラシック2025」に協賛し、愛知県刈谷市で開催された予選大会をロジスティード冠大会として実施しました。競技に先立ち、元プロ野球選手によるキャッチボールの実技指導も行われ、子どもたちは投げる・捕る動作のコツを学びました。



## 「日光詣スペース」 先頭車両の輸送完遂

ロジスティード(株)は、東武鉄道(株)と臺灣鉄路股份有限公司が友好協定締結10周年を記念して台北駅前に展示する「日光詣スペース」先頭車両の輸送を実施しました。群馬県館林市の車両基地から千葉港へトレラーで陸送し、千葉港での船積み、台北港への海上輸送を経て、現地での輸送、駅前展示場への設置までを含む大規模プロジェクトをロジスティードグループの重量品輸送の豊富な経験を活かし、綿密な工程管理を行いました。



## 「VCアワード2025」開催

ロジスティード(株)は11月7日、本社(東京都中央区)で改善事例の社内発表と表彰を行う「VC(Value Change & Creation)アワード2025」を開催しました。このアワードは毎年開催されている恒例イベントで、各現場が生産性向上や効率向上につながる「LOGISTEED WAY\*」を実践する日々の改善活動(VC活動)を発表する場となっています。

\*LOGISTEED WAYは、ロジスティードグループのあり方と進むべき道を示したものであり、「経営理念」「経営ビジョン」「行動指針」「成功要件」で構成しています。



## 令和7年度 「救急業務功労者表彰」受章

9月16日、ロジスティード(株)の松戸研修所(千葉県)が松戸市消防局より「令和7年度救急業務功労者表彰」を受章しました。2009年度より救急救命技術優良事業所の認定を継続的に受けているほか、松戸市救急救命ネットワーク事業にも賛同し、応急手当についての即応体制を確立しています。こうした救急業務への理解と応急手当の普及に向けた継続的な取り組みが評価され受章に至りました。



